

技術資料



SOTS No. A0504-01-02
オイルレスブッシュ取扱要領

制定 2002年6月28日
 2回改訂 2015年1月29日
 主管部署 技術部 管理課

弊社のオイルレスブッシュ/SOBを組込む場合、追加工する場合、あるいは保管する場合には、下記の取り扱い方法に基づいて行ってください。

1. ハウジングへのブッシュ組込み方法

1) 圧入する場合

圧入する場合、ブッシュに直接プレスで押し込めると損傷する心配がありますので、図-1に示すように当て金をあてて押し込んでください。また、強い衝撃を与えると固体潤滑剤が損傷する場合がありますためご注意ください。

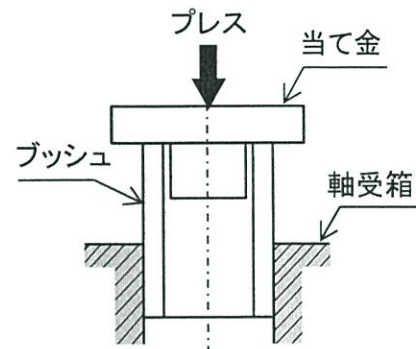


図-1 圧入方法例

2) ドライアイスによる冷やしばめの場合

一般に、大口径のブッシュを締めバメ固定する場合、ドライアイスによる冷しバメが多用されています。この場合、ブッシュは極低温に冷されるため表面に大気中の水蒸気が凝結し、常温に戻った場合ではそれが氷解するため表面は濡れた状態となります。したがって軸を挿入する前に清浄な乾いた布で表面の濡れを十分に拭き取ってください。

2. 追加工の場合の注意事項

摺動面をやむを得ず追加工する場合は、図-2に示すように摺動面の面粗度をRa1.6以下の平滑な状態に維持し、角部を面取りしてください。

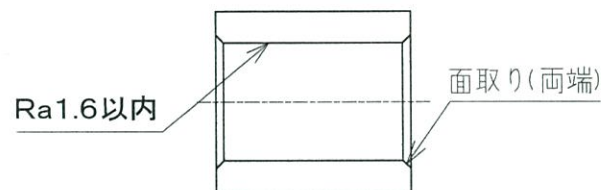


図-2 追加工での特記事項

3. 初期なじみ

組込み後、清浄な乾燥した布で摺動面の異物などを除去してから、グリースを塗布し、初期なじみ運転を行ってください。200℃以上の高温で使用する場合はグリースあるいは潤滑油の使用は不向きですので、MoS₂系の固体潤滑剤コーティングを施してください。

4. 保管方法

長時間、保管する場合は湿気のない場所で、防錆用のグリースなどを塗布するなどして、損傷の無いよう保管してください。

改訂履歴	符号	年月日	担当	改訂内容	承認	調査	作成
	①						
	②						
	③						
	④						